



「市民+共産党」で動かした 子どもの医療費無料化のあゆみ

日本共産党京都府会議員団

京都府の年間予算は約1兆円

高校卒業までの無料化も
予算の0.1%未満で可能です。

京都府内で子どもの医療費助成を
行っている自治体

▶高校卒業まで

久御山町、井手町、和束町、南山城村、
南丹市、京丹波町、伊根町

▶大学生も

京丹後市

今なお「窓口無料は0～2歳だけ」は府内で京都市だけ



さらに 高校卒業までの無料化を実現させましょう。

1972年 日本共産党が府議会で初めて質問

「オール与党」は
長期間拒否

1993年 世論の広がりで助成制度創設！
入院 通院 1歳まで(月200円)

1999年 入院 通院 2歳まで拡大

2001年 乳幼児児
療京都ネット結成

2002年 知事選
で小学校まで無
料化が争点に

2003年 入院 就学前まで拡大(月200円)
通院 自己負担金(上限)8000円

2007年 入院 小学校卒業まで(月200円)
通院 自己負担(上限)
3000円に引き下げ

2015年 中学卒業まで拡大
入院 (月200円) 通院 (月3000円)

2017年 子ども
医療京都ネット
が署名活動

2019年 通院 自己負担1500円に引き下げ

2023年 通院 小学校卒業まで拡大(月200円)

2022年 知事選
で中学校卒業
までが争点に

学校給食の無償化

攻撃三サイルよりも教育に予算を

今年度1発4億円×500発を購入計画。これだけで給食費を半分にできます。



全国で254自治体が
給食無償化を実施

小中学生を持つ子育て世代は、**教材費や給食費、修学旅行の積立費**などが**重い負担**となっています。物価高騰等に対応した**給食費の軽減措置も全国では83.2%の自治体で実施**しています。

2023年度は「子どもの教育のための総合交付金」の創設が盛り込まれ、給食への支援も可能になります。

地元食材を活用

栄養教諭の配置

学校給食費の負担軽減など

京都市民の運動と世論の高まりで京都市でも2023年度、全員制中学校給食の実施を視野に入れた調査費を計上することに。



年で3倍化、昨年12月時点で254団体に広がっています。